



和歌山市立西和佐幼稚園
園長 高石 知都
令和7年 12月号



朝晩の寒さも日に日に増し、冬らしい季節となりました。しかし、日中は暖かい日も多く、子供たちは砂遊び、ドッジボールや鬼ごっこなど、園庭を所狭しと元気いっぱい遊んでいます。

開放週間中は、限られた時間でしたが保護者の皆様にお越しいただき、子供たちの作品や保育の様子を見ていただきありがとうございました。また、11月15日(土)の参観、人権教育講演会もご参加いただきありがとうございました。さて、子供たちが今取り組んでいる「はっぴょうかい」についてですが、普段遊んでいる様子を遊戯室の舞台上で表現します。子供たちはお家の方に見ていただくこと、毎日舞台上で遊んだり、他のクラスの友達の表現を見たりしています。自分たちの発表を見てもらうことで、「はっぴょうかい」を迎えることを楽しみにしているようです。たくさんのお客さんに見ていただくので、緊張する姿も見られるかと思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。

保護者の皆様には、2学期も様々な面でご協力をいただきありがとうございました。いつも保護者の皆様のご理解、ご協力本当に嬉しく思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。

☆お知らせとお願い☆

◎22日(月)終業式について

12月22日(月)の終業式の降園時は、各クラス担任からお話をさせていただきます。

たんぱ組は10時40分に、ゆり組は10時50分、きく組は11時に、各保育室にお入りください。駐車場の関係で遅れないようにお願いします。 終わり次第第一斉て降園します。



サークルタイム

先生と、子供たちで顔を見合わせながら、話をしています。友達の意見もみんな聞いています。

伝える

消防点検に来てくれた消防士さんに、「小学校でも会ったよね。西和佐フェスに来てた?」「覚えてくれたの?」「うん。」



経験を活かした会話も

「ここを泥水で固めてかたい山にしよう。」「前にやったら固くなったんだよ。」「じゃあ、やってみよう。」



「ことば」を大切に
幼稚園では、経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で伝え、相手の話す言葉を聞くこととする気持ちを育てることを大切にしています。
子供たちは、自分の周りの大人の言葉を聞き、会話していく中で、たくさんのことばを身につけていきます。また、本を読んでもらったり、歌と一緒に歌ったりして子供たちは自然とたくさん言葉聞いて覚えていきます。また、話し方や語彙をたくさん知ること、相手に伝えられることも広がっていくと言われています。
自分で考え、自分で判断し、表現することが大切になってくると言われている中、幼稚園では、「一人一人の子供たちの、「言いたいな。」「聞いてほしいな。」という気持ちを大切に、先生たちも子供たちの声に耳を傾けて、最後まで話を聞くことを心がけています。子供たちは、どの先生にでも自分の思いを話すことが出来るようになってきています。また、クラスでは「サークルタイム」の時間を作っています。各クラスで話し合いの内容は違いますが、先生が話題のきっかけを作り、意見を出し合っていく中で、友達の話や先生の話の顔を見ながら聞くことが出来るようになってきています。
先日の人権教育講演会での辻先生のお話にも「言葉は心」と題し、素敵なお話をたくさん聞かせていただきました。幼稚園でも、「ことば」を大切に、自己肯定感を高め、相手の気持ちに気づける子供を育てていきたいと考えています。